

平成29年6月

光耀会だより

社会福祉法人 光耀会

No.08



ご挨拶

光耀会理事長
岡本 征

の時その時の社会ニーズにこた

おります。

え、また、必要に迫られ高齢者

平成二十九年四月より、改正

対策施設東山荘建設、各施設で
短期入所事業の開始、また施設

社会福祉法のもと大きく経営が
変わろうとしています。この時

から地域へとグループホーム

期に理事長に指名されました。

平成二十八年十月十七日の理

の開設等々、時代のニーズに
じて事業展開を行ってまいりま

全身全霊をかけて光耀会が地域
のニーズに合った社会福祉法人

事会にて、理事全員の承認をいた

した。

として地域と共に共生社会を作

だき、理事長に就任いたしました。

設立から今日まで、よく頑張
れたものだと思います。また、

り、誰もが笑顔で生活できる地
域づくりにまい進いたします。

振り返れば、社会福祉法人光耀

頑張れたことは信頼いただいた

今後もし引き続きご声援とご指

会の設立から関わり、沢谷荘開設

利用者の方々とご家族の支援が

導ご鞭撻いただきますようお願い

により障害の世界に飛び込み、そ

あったならこそと感謝いたして

い申し上げます。

社会福祉法人 光耀会

平成二十九年 事業計画

平成三十年度障害福祉の見直しに向け、当法人として本年度は左記の項目を重点課題として実施し、光耀会のステップアップを図ります。

- 1 定款の変更と、社会福祉法人改革による新会計基準導入及び定款変更による理事、評議員の権限の見直し
 - 2 事業体系の見直し
 - 3 雇用の見直し
 - 4 障害者支援施設東山荘の新築計画に基づく土地の購入について
 - 5 社会福祉法人充実残高等について
 - 6 障害福祉サービス等における福祉、介護の処遇改善について
 - 7 相模原市の障害者支援施設における事件等の再発防止対策について
 - 8 施設から地域への移行の推進対策
- 以上を重点項目として掲げ、法人の使命を着実に実行し、地域の中で共生の社会をつくる一翼を担っていきます。

《重点事項説明》

1. 定款変更について

平成二十七年より開始された新会計基準の導入については順調に会計処理されつつ、現在使用しているソフト会社と調整しながら、確実な会計処理を目指している。定款の変更については大きく変更され、別紙の内容となっており、理事の役割、評議員の役割等責任の明確さを問われているため、理事会評議員会の運営については粛々と行っていく。

2. 事業体系の見直し

事業の一つひとつの徹底した見直しを行い、今後地域支援が大きなテーマとなってくるため、将来を見据えたやる気のある職員配置を行い、地域生活支援事業等において地域から信頼、期待される事業運営を目指します。

3. 雇用問題については、人材不足の解消、職員の資質の向上により、職員全体の意識改革とレベルアップを図り、資格の取得に積極的にバックアップを行う。人事考課制度について改正を行い働きやすい環境づくりを目指し

たが、効果が出ていない為、再度の見直しを図りたい。

4. 長年の課題の東山荘新築の為の土地を確保することができた。この購入地を起点として障害福祉をはじめ、介護福祉の事業等の展開を目指す。

5. 社会福祉充実残高については、今後東山荘の建設、更には介護保険事業の導入等の事業展開を目指すため、さらに繰越金等については検討をしながら将来へ繋げていきたい。

6. 障害福祉サービス等における福祉、介護職員の技能、経験等に応じた昇給の仕組みを構築し、新たな上乘せ評価を行う

7. 当法人の運営する事業所において、相模原事件の検証を行い、再発防止の為の施設管理、職員の資質の向上を図ると共に、健全で安心して利用のできる事業所運営を行う。課題、防止策を常に検証し、改善を図ります。

8. 施設から地域へは従来から意識を持ち、沢谷荘の定数減、短期入所の定員増による地域支援。東山荘では地域の老人会と一緒に出かけ支援等を行ってきた。今後も地域の一員として関わりを持ち、地域生活支援拠点等整備事業を行っていく。

9. 「我が事 丸ごと」が今後の社会福祉のキーワードとなる。地域福祉づくりの強化に向けた取組の推進 二十億円。多彩な地域の支え合いの再生、活性化の実施。生活困窮者自立相談支援機関の相談支援。

10. 多様な活動、就労の確保、就労支援の推進（受け手から支え手へ）、地域社会と密接に連携し、生活困窮者、生活保護受給者、高齢者若年無職者、障害者、がん 難病患者等の多様な活動、就労の確保や就労支援の体制を平成三十年の障害者

（報告者 岡本 征）

障害者支援施設

沢谷荘

〒669-1335 三田市沢谷556

TEL 079-567-2030

FAX 079-567-2126

【障害者支援施設 沢谷荘】

施設長 齋藤義昭

久し振りに書くことになりました。

改正福祉法の施行等、社会福祉法人を取り巻く環境が法的にも大きく変わってきています。

また、施設に目を向けますと、住まいの場として地域移行の整備が進められた結果、グループホーム利用者が平成二十七年四月現在で十万人となり、施設入所者十三万人の人数に迫ってきてい

ます。そのような状況に置いて、入所施設の強みを見つめ直す必要があります。

二十四時間の夜間を含めた支援、三六五日の切れ目のない支援・・・そのことは言うまでもなく緊急時を含む継続性のある専門的な支援サービスを提供できるとに繋がります。地域に安心を提供

できる機能が強みであると思えます。

逆に地域での生活で必要なことは、様々な資源の間の有機的な結びつきを強め、複数の機関が機能を分担して担うことで、本人、家族が安心して生活ができる環境を提供できることになると思います。地域に

基幹センター的な役割を担う拠点事業所を位置づけ、面的な調整をする必要がありません。

施設と地域の融合が問われている気がしますが、もうひとつ気になることがあります。それは六十五歳

問題です。三月の通常国会に提出された介護保険法の改正案では、「共生型サービス」を位置付けることと

されました。

介護保険又は障害福祉のいずれかの指定を受けた事業所が、もう一方の制度におけるサービスの指定を受けやすくすることが具体化します。

平成三十年には介護保険・障害福祉サービス等報酬改定が予定

されており、どのような形で指定基準や報酬が示されるのか注視が必

要です。これも介護保険と障害福祉との融合でしょうか。確かに、食事

・入浴においても介護度が急速に増し、体調の管理や転倒防止に追われる現場を見ていると、今後どのような形で施設において日常の支援が

なされていくのか不明確な想いを感じます。

↓地域行事 とんど



市民文化祭

沢谷荘 秋祭り



恒例の狂言鑑賞会

障害者支援施設

東山荘

〒669-1353 三田市東山898-1

TEL 079-568-1900

FAX 079-568-1052

【障害者支援施設 東山荘】

はじめに

施設長 芦田 愛

念願の、新しい施設を建て替えるための土地を購入することができました。新たな事業の展開も視野に入れながら、東山荘の三年後の建て替えを目標におき、準備を進めていくところである。

す。地元である本庄地区は変わらな

を得るための努力も必要であると思

います。また、地域の社会資源

として、社会福祉法人がどう取り組

んでいくのが求められている中

で、地域に向き、職員を身近に感

じてもらいながら、社会から認めて

もらう施設となり、地域の拠点とし

て地域福祉の発展に取り組み、創意

工夫しながら、東山荘がリーダーシ

ップをとりたいて考えています。
年度の重点課題

1. 施設の建て替えをひかえ、計画的な事業運営が求められる。業務改善及び効率化に取り組み必要がある。職員にもコスト意識を高めるため、行事計画にも予め企画、計画により予算配分を行い、計画的な取り組みを意識づける。
2. 職員の質がサービスの質となる。支援サービスの質の向上に向けて積極的な研修参加によりサービスの質の向上に努めると共に、施設として資格取得へのサポートを行う。資格取得後には資格を生かし、施設や法人の事業運営に貢献できるように努める。また、階層ごとの研修を開催し帰属意識を高め、経験年数や役職ごとに求められる法人内での役割や貢献など自覚できるように人材育成を行う。
3. これまで積み重ねてきた地域への活動を基に、法人としての「地域における公益的な取り組み」として発展させなければならない。地域の社会資源として地域から信頼され



←ビッグ風船でバレーボール

↓スマイルピック



る施設として、地域の拠点となれるように職員で課題意識を共有して取り組む。

○運営業務

職員の一一人ひとりが帰属意識を高め、組織の一員としての自覚と責任を持ち、他の職員と協力しながら業務改善及び効率化に取り組むよう研修や会議を行う。

○支援業務

充実した利用者支援の実施の為にも、安定した人員確保の維持は欠かせない為、新たに二名の支援員と看護師を採用し、安定した人員確保により利用者支援の充実を図る。



卓球大会



西陵高校との交流会

NISIYAMA

明日の暮らしに
 明るい展望と意欲をもって
 生活することを支援したいと願い
 木工を中心に、樹脂粘土
 小物、雑貨を作って、地域との
 つながりを、目指して活動している
 ものづくりの人たちの集団です



就労継続支援B型事業所 スクラム 西山作業所

SYUUROUKEIZOKU SIENN B JIGYOUSYO SUKURAMU NISIYAMASAGYOUSYO



端午の節句は
 成長を祝う行事
 「すこやかに、たくましく
 すくすく育て」と
 願います。



可愛いけど
 爽やかで
 カッコいい
 小さな小さなハウスの
 インテリア小物。



桃の節句は
 女の子を祝う行事
 「すこやかに幸せに
 ありますように」と
 願います。



お部屋に
 ビッタリな流木の
 ナチュラルな
 一輪挿しです。
 Lサイズ Mサイズ



インテリアにも
 GOODな
 飾って楽しめる
 木製の「ショコラ風」の
 マグネットです。



NISIYAMA作業所に
 新しいメンバー
 「気まぐれ猫」が
 加わりました。
 ぜひぜひ見てやってください。



手仕事の
 季節を感じる
 スタンドを
 取り揃えて
 おります。

ワンランク上の
 季節のリース

お庭にピッタリ！
 木製の
 ナチュラルな
 WELCOME
 プレートです。

手作りの
 Merry christmasは
 おもちゃ箱を
 ひっくり返したような
 楽しいオーナメントが
 いっぱいです。

カッコいい
 松ぼっくりのリース

就労継続支援B型事業所

スクラム

〒669-1334 三田市中内神427

TEL 079-567-0021

FAX 079-567-0021

平成二十一年五月 事業所開始
以来八年を経過し、本体作業所と三分場により運営しております。

【本体施設 スクラム】

住所／三田市中内神四二七
定員／三十名 現在三十名

主な作業／自動車部品の組立

【工房アーチ】

住所／三田市内

神八四一

主な作業／ク
ツキー作りと
販売、パン作り

と販売

【沢谷作業所】

住所／三田市

沢谷字小田一
二九八

主な作業／自動車部品の組立

【西山作業所】

住所／三田市西山二一〇一四

二階 主な作業／木工製品の作成
販売、清掃活動、小物作りと販売

以上の四作業所にてそれぞれ特

徴のある作業により製品作りから
販売まで一貫した就労支援を行っ

ております。

工賃についても本人の能力に応じた支給を行う出来高払いとなっており、出勤日数による最低賃金の保証もあり所員全員がそれぞれの能力に応じた作業内容となっております。

また、いまだ実現は出来ていませんが、地域への自立に向けての支援、アドバイス、援助を今後も重点的に行ない、地域で生活しながら通える所員を一人でも多く輩出したいと考えています。

《年間行事計画》

年間を通じて、楽しみと所員の仲間意識を感じ、ともに就労に対する関心と地域で自立することの楽しみを見いだせるように工夫しております。新人所員歓迎会・慰安旅行・クリスマス会・忘年会・新年会など、年間を通じてメリハリのある行事計画を心掛けます。

《その他具体的な作業内容》

・公園清掃 小野公園のごみ拾い、
トイレ掃除。

・オカパック（緩衝材）の袋詰め作業

・ワークチャレンジ事業への参加
・アンテナショップでの販売参加
・自動車部品の組立 等、
様々な作業を提供しながら所員の地域移行を進めております。



豪華！行事食



楽しいレクリエーション

スマイルピック



部品の組立作業

児童発達支援事業
放課後等デイサービス事業

かがやきさんだ

〒669-1334 三田市中内神427
TEL 079-567-2430
FAX 079-567-2431

行いながら、個別ニーズに応える支援を行っていききたいと思えます。



児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業を開始し、五年が経過しました。
今後は、放課後等デイサービスについては見直しが行われ、障害児支援等の経験者の配置「放課後等デイサービスガイドライン」の遵守及び自己評価結果の公表の義務付けが

されることとなり

ました。個別のニーズに応じた支援が必要であり個別支援計画を基にして、ゆとりのある受け入れ調整を

五月十八日に、「かがやき運動会」を、ふれあいと創造の里体育館にて開催しました。今年で第三回目を迎えました。第一回目から参加いただいている方もおられますので、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。当日は、十六組の参加があり、体育館内は皆さんの熱気と笑顔でいっぱいでした。「大玉ころがし」を皮切りに、皆さんが楽しみにされている「パンくい競争」、職員が企画した「サバイバルゲーム」、運動会の競技には欠かせない「玉入れ」や「綱引き」、かがやきならではの企画「お父さん出番ですよ」などの競技を職員も一緒になって楽しみました。紅白のチームに分かれて得点を競い、勝ちにこだわらないとは言うものの皆さん、勝負ごとになるとどうしても力が入ります。綱引きでは必死に綱を引っ張ってくださいました。保護者の皆様、ご協力本当にありがとうございます。ぜひ、「第四回かがやきさんだ運動会」もアットホームな雰囲気の中で皆様と一緒に楽しいひと時となるよ

う企画いたしますので、ご家族皆さんでご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

本年度の年間行事予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

四月 花見、いちご狩り

五月 運動会（保護者参加）

六月

七月 七夕

八月 花火大会



グループホーム 光耀会クラブ

【本部】

〒651-1502 神戸市北区道場町

塩田2752

TEL 078-985-8326

FAX 078-985-8326

【光耀会クラブ】

平成三年の開設から、様々な問題に直面し、何とか解決する日々を積み重ねて二十五年の月日が経ち、

バトンタッチされた私たちスタッフはその先に向けて、山積している色々な問題に向かい合わなければと思っています。その中でもまず頭

に浮かんでくるのが利用者の皆さん

の休日や祝

祭日の日中の過

ごし方です。

その充実をは

かり情報を提供

する為に、ホー

ムヘルプの申請

をし、ヘルパー

を使って外出す

ることで休日等の日中活動の幅を

広げていく予定です。

一部の利用者は、数年前にすでに

受給決定を受けて、ヘルパーと買物

に出かけたり、趣味の時間を充実さ

せたり、日帰り外出で姫路や京都へ

出かけて楽しい一日を過ごし、その

ながら話をしてくれるのを目のあたりにするとこちらの心も自然とはずんできます。

他利用者にも同じように楽しい休日を過ごしてもらい、良い笑顔を見せてもらいたいと思っていますが、まだ現在、半数以上の利用者の方が申請できていかなかったり申請中の状況です。

申請しても手続きに時間がかか

り、すぐに決定を受けることができ

ないのでまずは受給決定を受けて

いる方を中心に、休日の日中活動の

充実をはかっていきたいと思っ

ています。

第二点は、ホームから巣立ち、ア

パートで独り暮らしをしたり、サテ

ライト型のホーム生活から、さらに

アパート暮らしを目指していく為

に、地域定着支援のサポートを受け

る必要もあるかと思われま

す。また、色々な人から情報を得てき

ちんとした利用者支援のマニユア

ルを作っていかなければと考

えているところです。

三つ目は、消防関係の整備です。

●グループホームは、全部で8か所です。



第1グループホーム



第3グループホーム

数年前より、平成三十年三月末ま

でに緊急通報装置を消防署と直結

させる事と、スプリンクラーの完備

の二点を完了させるように通達

があり、その期限もあと一年を切つ

てしまい、又先日愛媛県の施設火災

があり、整備についての早期実現

するように指導がありました。

最後の課題として、ホーム利用者

の高齢化により、成人病等にケア

が必要となり、メニュー、味付けにつ

いて、両施設の栄養士さんからのア

ドバイスや世話人の研修会等を開

いて少しでも各自の体調に合った

食事を目指していきたいと思いま

す。



↑第4グループホーム 第5→



第8グループホーム

いろいろな面で、各事業所の皆さんのご協力を頂き、さらなるグループホーム事業の充実をはかっていますので、今後ともよろしく願っています。

(サービス管理責任者 井関寿文)

ねくすと

〒669-1334 三田市中内神 427 番地

TEL 079-567-2600

FAX 079-506-1237

▼相談支援事業所「ねくすと」の五嶋修平です。昨年四月に東山荘から異動してきて、早いものでもう一年も経ったのかというのが最近の実感です。

以前は入所施設の交代勤務で利用者支援をしていたのですが、現在では業務内容もガラリとかわり、パソコンを使うことが増えました。その

前の職場とは違う部分が疲れるようになりまし

た。初めは何の業務をするのにも勝手がなかなか分からず、苦労しているためか、毎日時間が過ぎていくのが遅く感じていました。ようやく一年がすぎ、少しずつ色々な人の名前と顔も覚えてきて一人でもできる仕事

が増えてきました。しかし、まだまだ要領が悪いために、いつも仕事に追われている感じがします。加えて、不勉強で知識や経験が少ないために余計に仕事が遅い時もあります。周囲の方々に恵まれ、的確な指導やフォロー、時にはお叱りもいただきながら、少しずつですが成長の日々を過ごさせていただいています。

ねくすとでは今年に入り取扱い件数が三百件を超えましたが、新規の依頼も来ていて隠れているニーズがあるものと思われま

す。近頃は相談の内容も複雑化、困難化してきており、困難事例や福祉サービスでは取り扱えない微妙な案件などを取り扱うための総合的な機関となる、基幹相談支援センターの開所が待たれるところです。

つ進めている最中です。ご本人は不安もあるようですが、念願の一人暮らしという事で楽しみでもあるようです。実際には、食事の面や火の取り扱いなどの日常生活だけでなく、多くの課題もあり、引越してからの支援をこまめに行っていくことは欠かせません。これからはこの方のように地域に出ると言う案件にも、取り組んでいきたいと思っております。

ねくすとには昨年九月から樋口敬子さんがパート職員として来てくれるようになりました。所員が三人となり、力を合わせて業務に取り組んでいきます。

私自身も、今後はもっと日々勉強を頑張り、経験を重ねて行き、利用者皆様の助けになれるように毎日の業務に励んでいきたいと思っております。皆様にはこれからもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

▼昨年九月より勤務させていただいている樋口敬子です。皆様が安心して過ごせるようお手伝いさせていただきます。よろしくお願



日中一時支援事業

ホームヘルプ、福祉有償運送

ねくすと

〒669-1334 三田市中内神 427 番地

TEL 079-567-2600

FAX 079-506-1237

ねくすとでは、障害をもつ方の地域生活を支援することを目的とした事業をおこなっています。現在、日中一時支援事業・ホームヘルプ事業・福祉有償運送の三事業を展開しております。

日中一時支援事業は、十八歳以上の方々の日中活動の場を提供し、日常生活における支援をおこなっております。活動内容として、創作活動では折り

紙や色画用紙を使い、季節に応じた作品をつくり、完成した作品を玄関に飾り来所された方々に見て頂いております。利用者の方々がそれぞれ持参されたDVD

を皆さんと観賞、漢字の練習・ピアノを弾くなどご自分のスキルアップを目指している方もいらっしゃいます。

カードゲームでは、真剣な眼差しで勝負に一喜一憂。勝たれた方は声を出して喜びを爆発されます。ご希望の多いドライブに出かけたり、暖かく天気の良い日にはウォーキングなどもおこ

ない、運動をする機会を持ち気分転換を図れるように心掛けております。

在宅での支援であるホームヘルプ事業では、居宅介護・移動支援・行動援護・同行援護・重度訪問介護をおこなっています。現在、二九名の方に利用していただいております。法人内の職員を中心に、登録ヘルパー四名で対応しています。

福祉有償運送事業は、福祉車両にて事業所への通所や通院、イベント・サークル活動への参加など外出時の移送サービスをおこなっております。安全運行に十分配慮し、また車両整備をしっかり実施して、今後も外出のための支援をサポートしていきたいと考えております。
(的 場 順 也)



→パナソニックのエアコン解体の仕事

社会福祉法人 光耀会 会報 光耀会だより No. 8 平成29年6月 発行

- ・指定障害者支援施設 沢谷荘 三田市沢谷 1298 〒669-1335 Tel 079-567-2030 Fax 079-567-2126
 - ・短期入所事業所 沢谷荘 " " " " " "
 - ・指定障害者支援施設 東山荘 三田市東山 898-1 〒669-1353 Tel 079-568-1900 Fax 079-568-1052
 - ・短期入所事業所 東山荘 " " " " " "
 - ・就労継続支援B型事業所 スクラム 三田市中内神 427 〒669-1334 Tel 079-567-0021 Fax079-567-0021
 - ・工房アーチ 三田市下内神 841 〒669-1333 Tel 079-567-0848 Fax079-567-0848
 - ・西山作業所 三田市西山 2-10-14 〒669-1537 Tel 079-565-2116 Fax079-565-2116
 - ・かがやき さんだ 三田市中内神 427 〒669-1334 Tel 079-567-2430 Fax079-567-2431
 - ・日中一時支援事業所 ねくすと 三田市中内神 427 〒669-1334 Tel 079-567-2600 Fax 079-506-1237
- (↑ 居宅介護支援事業、福祉有償運送事業)
- ・一般相談支援事業所 ねくすと 三田市沢谷 1296-1 〒669-1335 Tel 079-567-7530 Fax079-567-2126
 - ・グループホーム 光耀会クラブ 神戸市北区道場町塩田 2752 〒651-1502 Tel 078-985-8326 Fax 078-985-8326